

センターニュースをお読みの皆様へ

念願の電子カルテが 2025 年 12 月 15 日から導入されました。新しいものが始まる時の常ですが、何がどうなっているのか誰に聞けばいいのかとみんなでバタバタしつつ、様々な職種が話し合いながら軌道に乗せようとしているところです。通常の病院で電子カルテを導入すると電子カルテが落ちることがよくあるのですが、当センターでは今のところ大きなトラブルは起こっていません。また、どこ

にいても患者さんの情報を共有できるのが電子カルテの良いところで、外来にいても病棟での変化を電子カルテを見ながら確認することができるなど、良い面もたくさんあります。慣れるまでしばらくは暖かく見守っていただけると幸いです。

医務部 部長
中村 由紀子

和楽器ユニット「すみれ」 堇コンサート

12月20日(日)、8名の和楽器奏者の皆様をお迎えし、「和楽器ユニット 堇(すみれ)」によるコンサートを開催しました。津軽三味線・十三弦箏・二十五弦箏・尺八・篠笛・和太鼓など、種類豊富な和楽器がステージいっぱい並び、その迫力ある光景だけでも特別感のある時間となりました。これほど多くの和楽器が一度にそろう機会は、島田療育センターでは初めてです。

演奏曲は、クリスマスソング、ディズニーの名曲、ビートルズの楽曲、さらに盆踊りと、なじみのある曲が盛りだくさんでした。利用者の皆様や職員も、手拍子をしたり体を揺らしたりしながら、一緒に音楽を楽しむ

姿が多く見られました。和楽器ならではの温かく深みのある音色が会場に広がり、心がほっと和むひとときを過ごすことができました。

すてきな演奏を届けてくださった「堇」の皆様に、心より感謝申し上げます。来年のご出演も、一同楽しみにお待ちしております。

(療育長 清水 信夫)



年末年始のお散歩スポット

外出が難しい利用者様にも季節感を届けるため、2025年12月下旬から2026年1月4日まで厚生棟1階玄関ロビーに期間限定コーナーを企画しました。

利用者制作の貼り絵や切り紙、各病棟行事の壁面飾り、職員手製モグラたたきゲーム、装飾ボランティアによる折り紙リースや季節の絵手紙などを一堂に展示しました。利用者様と職員、ご家族がゆったり散策。作品を前に歓声を上げたり、新年のパネルの前で笑顔の写真を撮ったりと、ロビーは連日和やかな賑わいに包まれました。
(療育長 清水 信夫)



(左上) 第1病棟で作製した「モグラたたきゲーム」

(右上) 折り紙ボランティアさんのお正月の装飾

(右) ボランティアの「絵手紙くるくる」さんからいただいたお正月の特大絵手紙



デイケアセンター

幼児部クリスマス会

12月12日(金)に幼児部のクリスマス会が開かれ、たくさんの利用者様とご家族が参加しました。今年は、雪だるまを乗せたソリを落とさないよう紐で引っ張ったり、ジャンケンをしてクッキーを集めたりするゲームをしました。サンタとトナカイが登場すると利用者様は驚いた表情を見せながらも、プレゼントを渡されると嬉しそうに笑っていました。

午後はボランティアの「ザ・レインボーズ」が来所され、南京玉すだれや歌など元気なパフォーマンスに、会場にいた全員が大笑いしながら楽しみました。

(デイケアセンター 高橋 かおり)



第3病棟

クリスマス会

今年のクリスマス会は「マジックにじいろ」様をお招きしました。「♪あわてんぼうのサンタクロース」の曲や「♪ジングルベル」などなじみのクリスマスソングに合わせてマジックを披露していただきました。

途中、40人分の仕掛けのあるツリーを準備してください、利用者様もマジックを体験しました。ご家族の方も久々にたくさんお越しになり楽しいひとときを過ご

すことができました。

(療育主任 下村 毅)



第5病棟

クリスマス会

今年度のクリスマス会では、ヴィオラとピアノの演奏者お二人、「デュオ・ドルチェ」さんをお迎えして、コンサートを開催しました。ヴィオラから響き渡る、柔らかくも力強い音色は病棟内によく響き、ピアノの演奏とも相まって、聴き入ってしまう利用者様が多くいらっしゃいました。演奏は本格的ですが、曲目はよく耳にしたことがあるものや、普段から歌っているクリスマスソ

ングを選曲していただいたので、曲を聴きながらも、みんなで歌ったり、タンバリンや鈴などの小楽器で演奏に交ったりと、会場の病棟一体となって、楽しむことができました。

(療育主任 油田 浩幸)



第7病棟

クリスマス会

7病棟のクリスマス会は、実践女子大学『パネルシアタークラブ』の皆さんによるパネルシアターを楽しみました！実はメンバーのおひとりが8月に7病棟に保育実習に来られた学生さんで、実習時にパネルシアターを披露してくださったことをきっかけに、クリスマス会も盛り上げてもらえたら…ということでお呼びしました。

『あわてんぼうのサンタクロース』や、誕生会に合わせて『だれにだっておたんじょうび』の歌とともに可愛

らしい絵が次々にパネルに貼り出されていき、皆さんはそれを穏やかな表情で眺めて過ごされ、あたたかい雰囲気

のクリスマス会となりました。

(療育主任 柴田 敦子)



寄稿

支援の根底にある「対話」を求めて ——オンライン研修を通して

足立区立の生活介護事業所「障がい福祉センター生活体験室」では、6月から11月にかけて全3回のオンライン研修を受講しました。島田療育センターの取組をモデルとした内容は、私たち職員が日々の支援で抱えていた課題に光を当てた学びの機会となりました。

1回目の研修では、「スヌーズレン」の目的が「個々に目を向け、好奇心や自発性、コミュニケーション能力を引き出すこと」と再確認しました。2回目ではICT機器であるタブレット端末を様々なスイッチにつなげての活用事例を伺いました。当施設でも利用者の様子にあわせるという視点でタブレット活用を試行的に始めました。3回目では、非言語的コミュニケーションの実例を学び、支援の根底に「意思疎通支援」が大切であることを学びました。

便利なツールがあふれる現代ですが、手段に過ぎません。その先にある「人と人との心の関わり」が重要です。今回の学びを糧に、利用者一人ひとりの思いに寄り添い、共に歩む支援のあり方を職員一同が力をあわせて追求していきます。ご指導いただきましたリハビリテーション部鈴木様、事務部神田様、病棟療育主任大谷様に改めて御礼を申し上げます。ありがとうございました。(寄稿：足立区障がい福祉センター生活体験室 小川様)



島田療育センター外来診療

初診の受付方法変更について

島田療育センターでは、より多くの方に安心して受診していただけるよう、2025年12月より初診時の受付方法を変更いたしました。これまで、初診時に診療情報提供書(紹介状)のご提出がない場合は選定療養費をお支払いいただいておりますが、2025年12月以降は、紹介状をお持ちでない場合でも選定療養費は不要となります。

一方で、現在他の医療機関を受診されている方や、教育センター、子ども家庭センター、児童相談所など公的機関でご相談されている方は、これまでの経過をスムーズに把握し、より適切な診察を行うため、引き続き紹介状をお持ちくださいますようお願い申し上げます。また、現在は初診対象を中学3年生までとさせていただきます。当センターでの受診をご検討の方や、ご相談をご希望の方は、以下までお気軽にお問い合わせください。

今後も、利用者の皆様に寄り添い、質の高い療育を提供できるよう努めてまいります。引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(支援部科長 三枝 勅夫)

お問い合わせ先

支援部：電話 042-374-2607

(受付時間：平日 9:30～17:00)



お子様の発達について、こんなご心配はありませんか？

このコーナーはネットワークしまだで連載していた、親御さんからの発達についてのご質問やお悩みに対して専門職が対応方法をご説明するコーナーです。バックナンバーは島田療育センターのホームページでもご覧いただけます。

Q

大人が「遊びは終わり」と言うと泣いたり怒ったりしてなかなか終わりにできません。「いじわる！」と大人をなじってくることもあります。

A

『遊びは終わり』と言われると、お子さんは「遊びを邪魔された」「急に言わないで」といった気持ちになるようです。まずは、遊びの前に時間や回数など遊びの終わりを、お子さんと具体的に決めてから始めてみましょう。時間の感覚がつかみにくいお子さん、数字・時計が読めないお子さんなどは、残り時間が減っていく様子が見て



わかるようなタイマー(タイムタイマー・アプリ等)を使うと、『半分』『残りわずか』などの見通しが持ちやすくなります。また、「あと5分」といった予告も、心の準備につながって切り替えに有効です。終わった後の別の楽しみ(おやつ、散歩など)を、決めておくのもよいでしょう。

それでも、お子さんが怒ったり泣いたりした場合、最低限の説明だけ伝えて説得などはせず、お子さんが落ち着くまで静かに待ってみてください。原則として、決めた約束は変えないことが大切です。お子さんの怒りにまかせた言動には注意や反論はせず、淡々とやり過ぎます。また、途中で怒ったりしても最終的に遊びをやめたら、「終わりにできたね」とほめてあげましょう。

(公認心理師 吉井 真耶)

寄付・寄贈のご報告

ご寄付 株式会社プリンセススクウェア様より100万円、出口博俊 社長個人より500万円、税理士古田土会計様より300万円、ご寄付を頂きました。島田療育センターへの温かいご支援を、心より感謝いたします。

ご寄贈 島田療育センターを守る会様より、利用者様へのクリスマス会のデザートとして、「ル・ジャルダン・ブ

ルー」のクリスマス・ムースを頂きました。また職員へは、「ぐりんぴーす工房」のクリスマス・クッキーを頂きました。毎年変わらぬご厚意に感謝いたします。

(編集委員 田中 和恵)



恵泉女学園

クリスマスの奉仕活動

12月22日(月)、恵泉女学園中学校の生徒8名と引率職員2名の皆様が奉仕活動に来てくださいました。最初に島田療育センターの紹介映像をご覧いただき、利用者様の生活や病棟職員との関わりの様子など、当センターについて知っていただく機会になったと思います。その後は、バレンタインの飾り付けに伴う作業をしていただきました。今回の奉仕活動を通して、中学生の皆さんが社会福祉について知っていただくきっかけになれば、うれしく思います。(事務部 関 泰章)



センター内研修報告

接遇向上委員会研修「接遇マナー」「身だしなみの基本」

センター内の接遇の基本マナーおよび身だしなみの基本について、改めて学びました。

安全衛生委員会研修「カスタマーハラスメント対応」

カスタマーハラスメントの予防から初期対応フロー、記録・報告、具体的な対応例などを学びました。

感染対策研修「手袋の適正使用と手指衛生」

世界手指衛生の日を踏まえ、WHOの「5つの瞬間」や「6Steps」による手指消毒・手洗いの手順などについて学びました。

第2回虐待防止研修「虐待を防止するための心理学的アプローチ」
虐待の現状と要因を学び、ABC分析、チーム連携、セルフケアで予防することの重要性を学びました。

個人情報保護研修「身近に迫るサイバー攻撃のリスク」

医療機関に迫るサイバー攻撃のリスクと代表的な手口を知り、対策意識を高めることの重要性を学びました。

第6回食べるプロジェクト「咀嚼訓練(口腔マッサージ)について」
口腔の過敏評価と脱感作、バンゲード法・ガムラビング等の間接訓練(口腔マッサージ)について学びました。

第20回島田療育センター集談会

会場で口演発表4題、ポスター発表7題が発表されました。発表後はセンター内の研修視聴サイトへの掲載や、一定期間通路へのポスター掲示も行いました。



地域療育等支援事業のご案内

① 外来療育等支援事業(療育相談)

当センターにて障害、発達に関するご相談に応じます。

② 施設支援一般指導事業

発達のご心配や障害のある方を受け入れている地域施設、機関職員の方を対象にご相談に応じます。

③ 訪問療育等支援事業(訪問相談)

地域施設や家庭へ赴いて、健康診査や介護指導などを行います。

窓口は支援部 TEL 042-374-2101(直通)

季節の彩り



可愛らしい節分の鬼たちが集まってきました。節分に恵方の方角を向いて恵方巻を食べると、その年1年の邪気を払い、福を呼び寄せるとのこと。今年の恵方は南南東。善き節分を迎えください。

発行者 社会福祉法人 日本心身障害児協会 **島田療育センター**
〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方は
こちらから

島田療育センター



ブログ
ほしげ



フェイスブック

